

# OITA BANK

大分銀行 平成25年3月期 ミニディスクロージャー誌



第207期 営業のご報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

## contents

ごあいさつ	1
経営方針「中期経営計画2011」の概要	2
OITA BANK News Flash! 特別編	3
ぶらり大分街歩き<MINI>「佐伯市」	5
業績ハイライト(決算のご報告と業績予想)	7
大分銀行のネットワーク	9
株主の皆さまへ	10
大分銀行赤レンガ館	裏表紙

## MiniDisclosure



地域をみつめ 未来をみつめ

大分銀行

お客さまに選んでいただける銀行を目指し、  
全役職員が一丸となって「地域密着型金融の実践」に  
取り組んでまいります

ごあいさつ

皆さま方には、平素より大分銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

弊行は明治26年の創立以来、当地にて地域の金融機関として営業を継続し、平成25年2月1日に創立120周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方の温かいご支援のおかげであると深く感謝申し上げます。

弊行は現在、平成23年4月よりスタートした「中期経営計画2011」の諸施策に全行を挙げて取り組んでおり、その結果、平成24年度決算につきましては、54億円の黒字計上を果たすことができました。

弊行の経営理念は、『地域社会の繁栄に貢献するため 銀行業務を通じ最善をつくす』であり、弊行の発展、成長も大分県を中心とした地域の繁栄と共にあると考えています。経営理念をより高いレベルで実現し、永続的に地域と共に発展していくため、全役職員が一丸となって「中期経営計画2011」の基本方針である「地域密着型金融の実践」に取り組んでまいります。

また、弊行は環境問題への取り組みや、地域のスポーツ・文化振興などさまざまな分野で活動を実践しています。一例を挙げ

ますと、地域のボランティア清掃、植林活動、大分銀行ドームをはじめとする大分スポーツ公園総合競技場等に関するネーミングライツ取得、大分トリニータをはじめとする各種スポーツへの支援、地域行事・講演会・コンサートへの協賛、県内各地で開催されるお祭りへの参加などがございます。

弊行は今後も、大分県を営業基盤とする地方銀行としての責任を果たすべく、銀行業務を通じた地域への貢献に積極的に取り組んでまいります。

皆さま方には、弊行の取り組みに対しまして、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年6月

取締役頭取 姫野 昌治

当行プロフィール (平成25年3月31日現在)

本店	大分市内町3丁目4番1号	従業員数	1,740名
創立	明治26年2月1日	※出向者および嘱託、臨時雇用を含んでおりません。	
資本金	195億9,843万2,500円	主要勘定	
店舗数	103カ店(本支店・出張所)左記のほか 香港駐在員事務所、東京事務所	預金等残高	2兆5,861億円
CD・ATM 設置台数	451台 (うち店舗外160台)	貸出金残高	1兆6,420億円
		有価証券残高	1兆323億円

経営理念	地域社会の繁栄に貢献するため 銀行業務を通じ最善をつくす
10年後の 目指す姿	商人の心が溢れ、地域社会の発展に貢献する 絶大な存在感を持った銀行



**(1)基本テーマ**  
変革への挑戦  
～大分銀行はお客さまとの絆を強めます～

「地域密着型金融」を定着させるためには、お客さまとの絆の強化に向けて、従業員一人ひとりが「変革への挑戦」を実践していくことが重要であることから、当該テーマを設定しました。

**(2)「中期経営計画2011」の目指す姿**  
「地域密着型金融」が定着し、地域と共に成長する銀行

「中期経営計画2011」においては、CE(お客さまの感動)の実現や、ES(従業員満足)の充実を図ることによって、「売り手(銀行、従業員)よし、買い手(お客さま)よし、世間(地域、株主)よし」の「三方よし」の実現を目指します。

**(3)基本方針およびそれを支える3つの柱**  
地域密着型金融の実践

基本方針は「目指す姿」への到達に向け、しっかりと利益をあげる基盤を作るため、「地域密着型金融の実践」とします。また基本方針を支える3つの柱として、「人財力・組織力の強化」、「経営体質の強化」、「営業基盤の強化」を設定しました。

「中期経営計画2011」においては、相互にリンクしたこの3つの柱を連携させることによって、基本方針を実現していきます。

**(4)施策の大前提**  
コンプライアンス・CSRの推進

「コンプライアンス」および「CSRの推進」は「中期経営計画2011」における全ての施策の根幹をなす大前提です。

# The 120th Anniversary

## 創立120周年記念事業

創立120周年にあたり、地域の皆さま、株主の皆さま、お客さまへの感謝の気持ちを込めて、平成25年1月4日から平成25年12月30日までを周年事業実施期間として、各種記念事業を実施いたします。

### キャラクターの導入、記念ロゴの掲示

新キャラクター「マイメロディ」を導入いたします。また、創立120周年の記念ロゴを作成し、カレンダー・パンフレット・名刺等に掲示いたします。



### 障がい者自立支援活動の開始

大分県内の障がい者自立支援事業者を対象に、販路拡大の一助として、赤レンガスクエアを販売スペースとして無償提供する試みを開始いたしました。



### 記念配当の実施

株主の皆さまのご支援に対し感謝の意を表すため、平成25年3月期の期末配当において1株当たり1円の記念配当を実施させていただくことといたしました。これにより平成25年3月期の期末配当金は、普通配当と合わせて4円となります。

### 「大分駅南土地地区画整理事業」への樹木寄贈

大分駅上野の森口(南口)駅前広場に、シンボルツリーとしてシダレザクラ2本の他、トウカエデ等15本、計17本の樹木を寄贈いたしました。



### 新提携クレジットカードの取扱い開始

創立120周年を記念して、「マイメロディ×めじろん」、「ニータン」のフィギュア付QUICPayの取扱いを開始しました。



全国初!

### 「第10回べつだいウォーク」への特別協賛

平成25年2月3日(日)、別府大分毎日マラソンのスタート時刻に合わせ、創立120周年記念特別協賛「第10回べつだいウォーク」が開催されました。特別ゲストとして元プロテニスプレイヤーの杉山愛さん、マイメロディも登場し、会場は歓声で溢れていました。



### だいきんスペシャルサンクスデーの開催

大分銀行ドームのネーミングライツ関連事業として、大分トリニータのホームゲームにおきまして、創立120周年記念だいきんスペシャルサンクスデーの開催を予定しております。

### 絵画コンクールの開催

大分の未来を担う県内小中学生を対象に、「好きです、大分」をテーマとして夏休み期間中、絵画コンクールの開催を予定しております。

### 「NHK交響楽団」大分公演の開催

平成25年3月10日(日)Iichikoグランシアタにて、創立120周年記念「NHK交響楽団大分公演」を開催いたしました。



九州で一番広いまち

SAIKISHI

# 佐伯市

## 全ての景色に出会えます!

佐伯市は大分県の南東部に位置し、九州山地から広がる山間部、一級河川番匠川下流に広がる平野部、リアス式海岸の続く海岸部に大きく分けられます。平成17年3月3日、旧佐伯市と蒲江町を含む南海部郡の5町3村が合併して九州最大の面積を誇る新「佐伯市」が誕生しました。

かつて佐伯藩の城下町として栄えたこの地には、歴史薫る街並みが今も残っています。また、山、川、海が揃う豊かな自然は様々な表情を見せてくれます。この風土に育まれた食文化は佐伯市の自慢です。

見て、食べて、楽しんで、今回は佐伯市の魅力についてご紹介します!

取材協力:佐伯市観光協会

### おながら 小半鍾乳洞

明治32年(1899)に発見され、大正11年(1922)に国の天然記念物に指定されました。一滴一滴の水が積み上げた時の結晶は今なお形作られています。



## 里



### 手つかずの原生林に抱かれて!

祖母・傾国定公園内に位置する藤河内溪谷。万緑の中、観音滝を始点とした一枚岩の巖穴群(おうけつぐん)が続き、春の新緑、夏の冷たい沢水、秋の紅葉、そして冬の山水画のような世界。季節の移り変わりに合わせて様々な彩りを私たちにを見せてくれます。そんな神秘的な大自然の中で素敵な時間を過ごしてみたいいかがですか。



空の地蔵尊からの眺め(米水津)

### 太陽と海風に包まれて!

佐伯市のシンボルの一つ豊後二見ヶ浦。寄り添うように並んだ男岩と女岩にしっかりと結ばれた大しめ縄は見る人々に迫力を与えてくれます。また、海と空が魅せるオレンジの世界と青の世界。二つの色が織りなす絶景をぜひ見てください。

## 海



### 雪ん子寿し

シャキッとした大根と、肉厚いたけのやわらかな食感、口いっぱい広がる酢飯の甘酸っぱさと大葉の爽やかな香り、すべてが口の中で見事に調和する逸品です。

## 食

### くじゃく

「くじゃく」はゆで卵を色つきのすり身に包み、蒸して揚げたもので、出来上がりを半分に切ると、クジャクの羽の目玉模様に似ていることからくじゃくと呼ばれているそうです。佐伯ではお祝い事やお正月、運動会のお弁当には欠かせない郷土料理の一つです。



388

## 東九州自動車道 蒲江～北浦 開通!!

平成25年2月16日、東九州自動車道の蒲江～北浦(宮崎県延岡市)間が開通しました。同区間の距離は14.2kmで、無料で通行できる自動車専用道路です。大分、宮崎両県が高速道路でつながるのは初めてでグッと身近になりました。

### 主な整備効果

- ①所要時間が短縮され、一定の時間で通行できるようになりました。
- ②災害時などでも道路ネットワークが確保されました。
- ③県境を越えた救急医療活動が期待されます。
- ④輸送コストの削減、販路拡大などにより物流の効率化が図られます。
- ⑤県境を越えた観光振興が期待されます。



### 平成24年度決算のご報告

平成24年度の経常収益は、国債等債券売却益は増加したものの、貸出金利息や貸倒引当金戻入益の減少により、前年度比34億87百万円減少し、475億66百万円となりました。

経常利益は、経常収益の減少が経常費用の減少を上回ったため、前年度比30億92百万円減少し、87億54百万円となりました。

当期純利益は、経常利益の減少により、前年度比4億97百万円減少し、54億53百万円となりました。



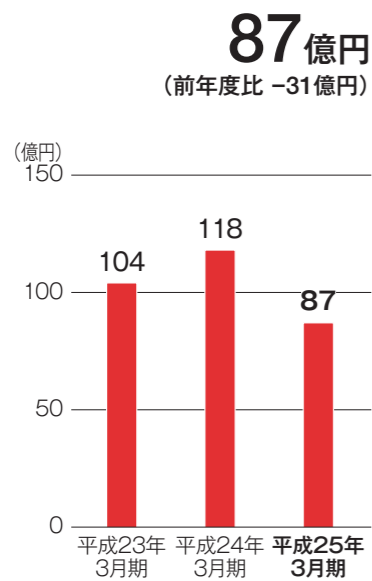
### 平成25年度の業績予想

平成25年度の業績につきましては、経常収益459億円、経常利益70億円、当期純利益43億円を予想しております。なお、平成26年3月末の日経平均株価を12,000円、与信費用（一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額）を年間10億円と見込んでおります。

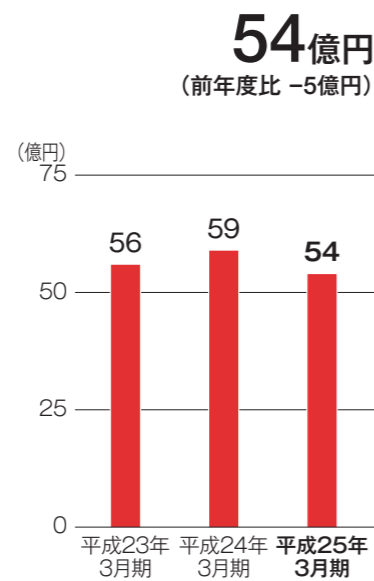
業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 主要な指標の推移

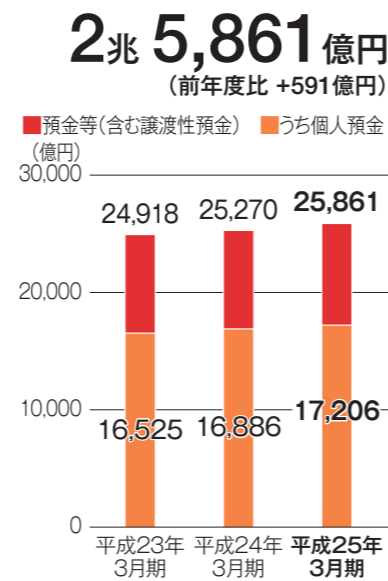
##### ■ 経常利益



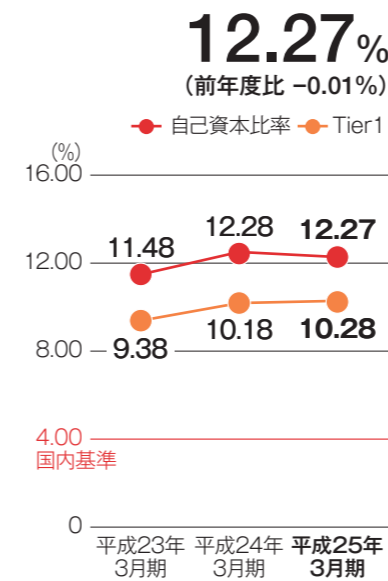
##### ■ 当期純利益



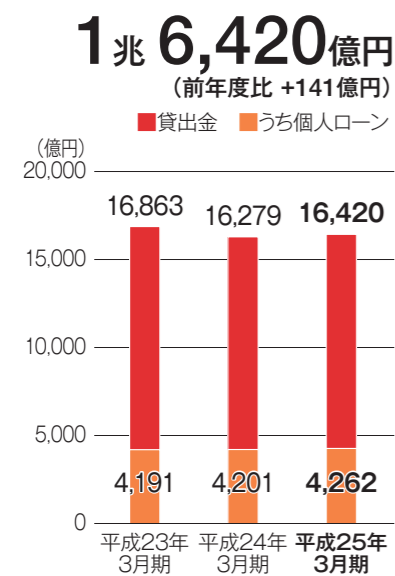
##### ■ 預金等



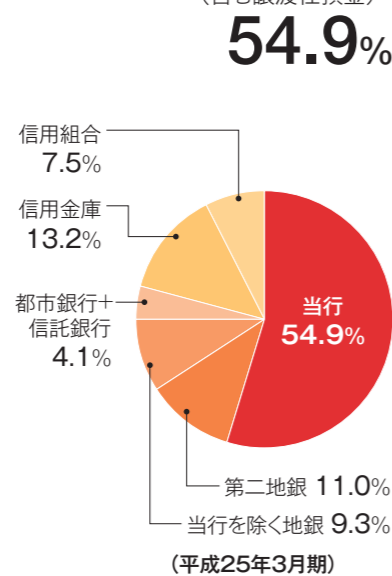
##### ■ 自己資本比率



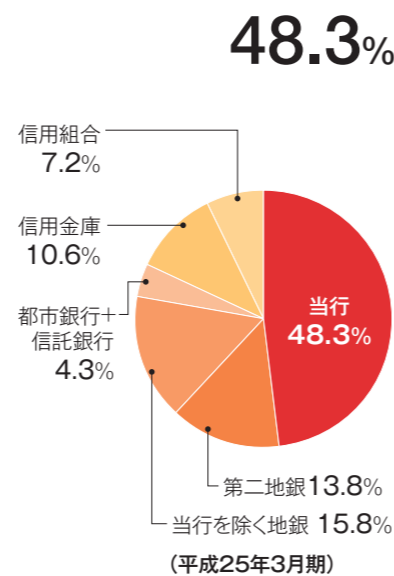
##### ■ 貸出金



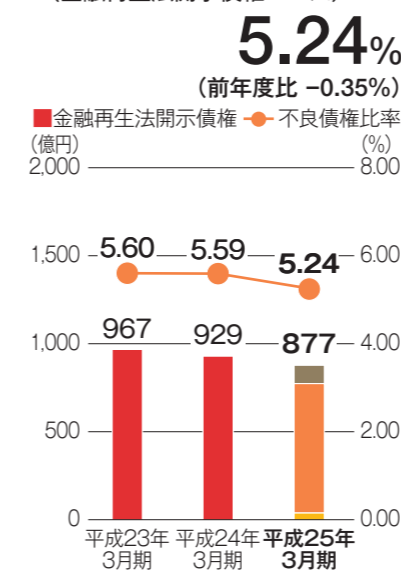
##### ■ 大分県内の預金シェア (含む譲渡性預金)



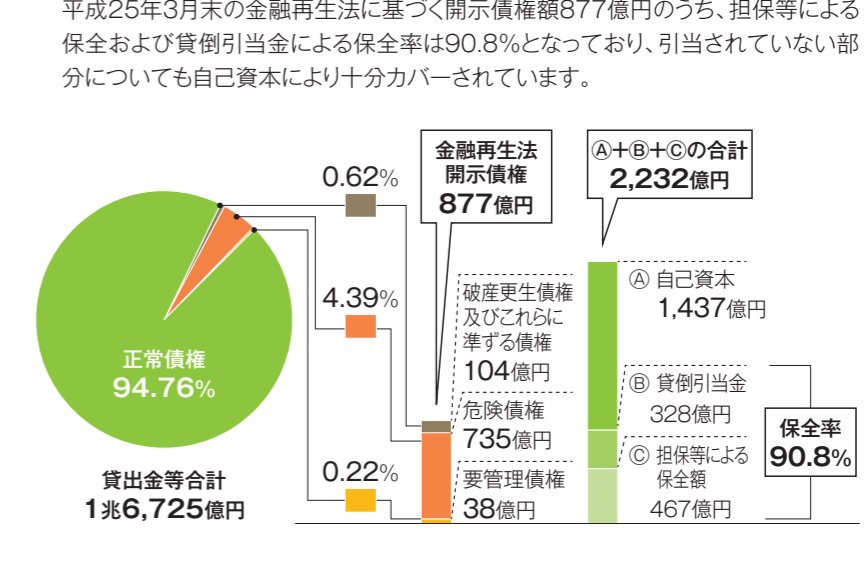
##### ■ 大分県内の貸出金シェア



##### ■ 不良債権比率 (金融再生法開示債権ベース)



##### ■ 金融再生法開示債権の保全状況

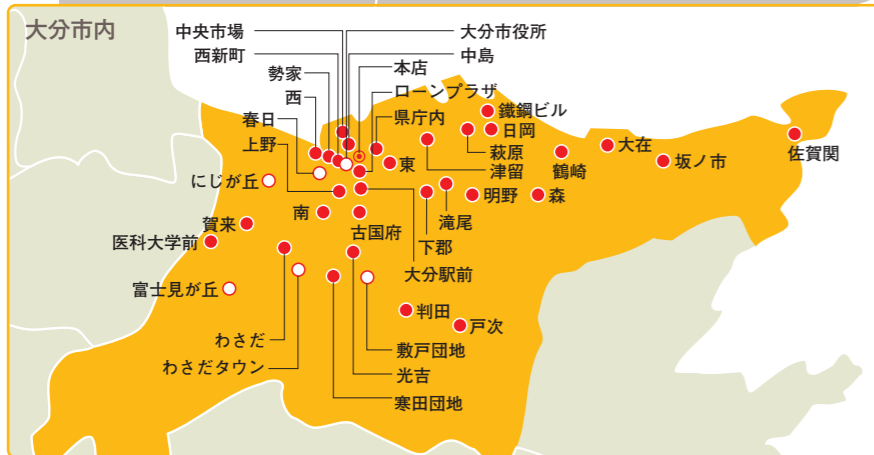
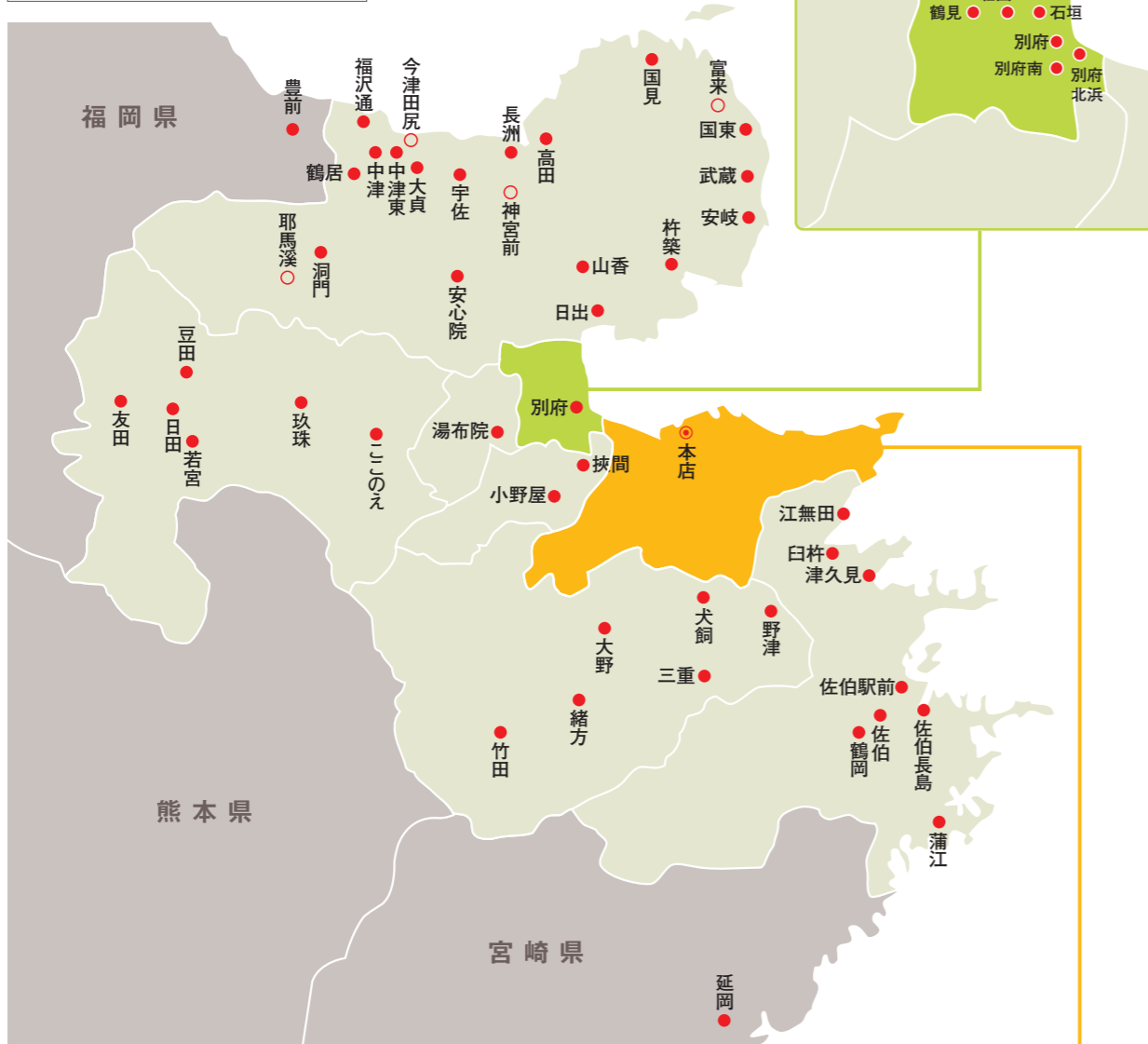


**用語解説**  
**金融再生法開示債権** 金融再生法に基づき、貸出金等(貸出金・支払承諾見返・外国為替・仮払金・未収利息)を対象とし債務者単位で区分しております。  
**破産更生債権及びこれらに準ずる債権** 破産等により経営破綻した融資先への債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

**危険債権** 経営は破綻していないが経営悪化等により、今後経営破綻となる可能性の高い債権をいいます。  
**要管理債権** 3カ月以上延滞している貸出金と融資先の経営再建又は支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出金の合計をいいます。(要管理債権は個別貸出金単位)  
**正常債権** 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権をいいます。

地域をみつめ 未来をみつめ  
あなたの街の大分銀行です。

●本店 ●支店 ○出張所 □事務所

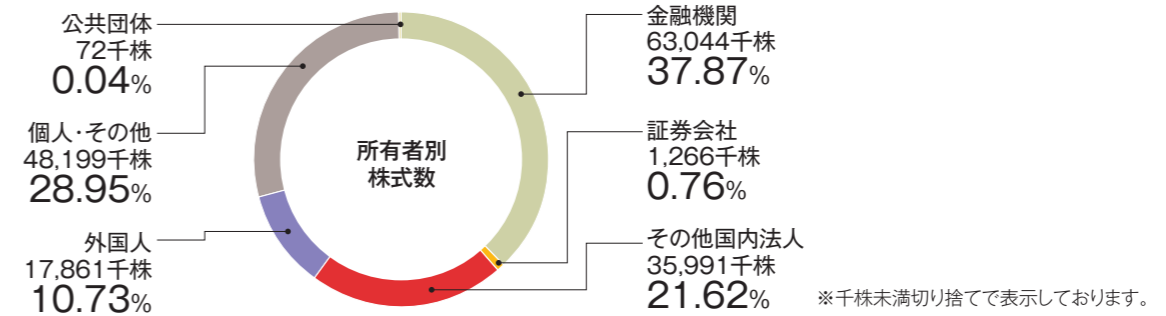


その他店舗 ●□東京 ●大阪 ●熊本 ●宮崎 ●福岡 ●博多 ●戸畑 ●小倉 ●門司駅前 □香港

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行済株式総数 166,436千株  
株主数 8,894名

株式分布状況



株式についてのご案内

- 事業年度**  
 毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
- 定時株主総会**  
 毎決算日の翌日から3ヵ月以内に開催いたします。
- 剰余金の配当および中間配当**  
 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、定時株主総会終了後お支払いいたします。中間配当を行う場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、お支払いいたします。なお、お取引の金融機関預金口座振込をご指定くださいますとお受取りが速くて便利です。
- 定時株主総会の基準日**  
 毎年3月31日といたします。その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。
- 公告方法**  
 電子公告により行います。当行ホームページアドレス <http://www.oitabank.co.jp/> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大分合同新聞および日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人**  
 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
 日本証券代行株式会社
- 同事務取扱場所**  
 福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号  
 日本証券代行株式会社 福岡支店  
 (郵便物送付先/お問合せ先)  
 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 日本証券代行株式会社 代理人部  
 電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
- 各種手続のお申出先**  
 ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。  
 ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
 証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。



表紙の写真「波当津海岸」(大分県 佐伯市蒲江)

波当津海岸は大分県でもっとも南に位置する海岸で、白砂と青松とのコントラストが美しく、「日本の白砂青松百選」に選ばれました。また、日豊海岸国立公園の一部としても知られています。遠浅で波が穏やかなため、夏には海水浴場としても人気があります。

～竣工100周年～

# 大分銀行赤レンガ館

黎明期からのあゆみ



現在の赤レンガ館

大分銀行の赤レンガ館は大分市のメインストリートである中央通り沿いにあり、大分市内中心地の近現代史を見守り、大分銀行を黎明期から支えてきました。その長い歴史の中では戦災にも遭い、一時周囲のレンガ壁を残して焼失しましたが、見事に再建され、復興への大きな力を人々に与えました。また、英国から調達した赤レンガのタイル壁に白い御影石を帯状に配しドームをのせた構成が特徴的で三角、四角、丸の窓の連携と相まって建物全体の重厚感と美しさを生みだしています。設計は旧日本銀行本店や東京駅の設計者として知られる辰野金吾氏によるもので、このようなデザインはヴィクトリアン・ゴシックに影響を受けた「辰野式」とも称されます。現在では大分市に残る唯一の明治時代の洋風建築物として、地域のシンボルとして皆さまに愛され続けています。



## 受賞・登録一覧

平成5年2月 「活き粋大分・まちづくり活性化協力賞」  
まちづくり活性化特別賞 大分市

平成5年7月 第6回「日経ニューオフィス賞」  
九州ニューオフィス奨励賞  
(社)ニューオフィス推進協議会

平成6年10月 「グッド・デザイン施設部門賞」  
(財)日本産業デザイン振興会

平成7年2月 第1回「大分市建築大賞」 大分市

平成7年5月 「BELCA賞ベストリフォーム・ビルディング部門」  
(社)建築設備維持保全推進協会

平成8年12月 「登録有形文化財」登録 文化財保護審議会

平成25年3月 「おおいた景観モデル賞」 大分市

## あゆみ

明治43年9月 旧二十三銀行本店(現大分銀行)として着工

大正2年4月 竣工

昭和20年7月 戦災により周囲のレンガ壁を残して焼失

昭和24年4月 再建竣工

昭和28年1月 商号変更により(株)大分銀行となり、本店として  
昭和41年まで使用

昭和41年8月 (株)大分銀行の新店(現本店)新築開店により、  
府内会館として使用開始

平成5年1月 大分銀行赤レンガ館としてリニューアル竣工  
大分銀行赤レンガ支店開店

平成14年3月 大分銀行ローンプラザ支店開店

平成25年4月 竣工100周年

